

2年間のカリキュラム

No.	課目		授業教科名	時間数			授業項目
				単位	総時間	時間数	
1	必修		美容技術理論	5	150	150	教科書内容・定期テスト
2			美容実習	30	909	50	国家試験カット
						74	国家試験オールウェーブセッティング
						198	国家試験ワインディング
						184	国家試験実技第1.2課題対策・見極め
						18	デザインパーマ
						84	デザインカット
						18	デザインカラー
						163	シャンプー・ドライ
						10	特殊技術実習
						110	実務実習
3	選択	専門教育	美容総合技術	18	549	159	カット
						40	パーマ
						28	ブロー
						36	スタイリング・セット
						69	カラー
						70	アンピサロン
						51	トレーニング(アンビ杯)
						84	トレーニング(アンビ祭)
						12	業界実習
合計時間				53	1,608	1608	

※上記2年間のカリキュラムのうち「実務経験のある教員等による授業科目」

美容技術理論	150
美容実習 国家試験ワインディング	198
合計	348 時間

添付書類「(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置」関係
イ 実務経験のある教員等による授業科目の授業計画（シラバス）

【美容技術理論】第23期生 1年次 授業計画

課目名	【美容技術理論】	時間数	90 時間（2 年間 150 時間）
担当教員	赤嶺 里奈	実施教室	教室 A
授業の目的 到達目標	【目的】 道具の名称、使い方を覚える 【目標】 「なぜそうなるのか」を理解でき、実技への筋道を立てる		
授業概要	・技術の習得を容易にする ・理論＝技術を理解する ・基礎から応用へのステップアップにスムーズに導入できるようにする		
授業方法	講義・実技 ・技術理論教科書 1・2 ・実習教科書 1・2 ※項目ごとに確認テストを行う ・パワーポイントを活用し、講義と実践を交えながら進めていく		

授業計画		
時間数	項目	内容
1～5	序章～美容用具 教科書：技術理論 1	・作業姿勢、美容師とは、授業内容説明 ・美容技術における道具 ・コーム、ブラシ、シザーズ、レザー ・ピン類、ヘアクリップ ・ロッド、ローラー ・電気機器
6～20	10 章 メイクアップ （実技含む） 教科書：技術理論 2	・導入と展示 ・スキンケア（展示） ・スキンケア（実践） ・パーツ手順（展示） ・パーツ（実践）
21～40	9 勝 ネイル （実技含む） 教科書：技術理論 2	・ネイル技術の種類 ・爪の構造 ・ネイル技術と公衆衛生 ・ネイルケア→実践
41	期末考査 期末解説	・序章、道具、メイクアップ、ネイルより出題
42～48	4 章 カットイング 教科書：技術理論 1	・シザーズの扱い方（手入れ実践） ・美容刃物 ・正しい姿勢とブロッキング ・ベーシックなカット技法 ・シザーズによるカット技法

49～54	2章 シャンプー 教科書：技術理論 1	・総論 ・サイドシャンプー、バックシャンプー ・リンス、コンディショナー、トリートメント ・スカルプトリートメント、ヘッドスパ ・種類と特徴
55・56	期末考査 期末解説	・カット、シャンプーより出題 ・期末考査解説
57～61	8章 エステティック 教科書：技術理論 2	・皮膚の構造 ・カウンセリング ・マッサージ理論（フェイシャル・ボディ） ・フェイシャルパック
62～70	7章 カラーリング 教科書：技術理論 1	・ヘアカラーリングの種類 ・染毛のメカニズム ・ヘアカラーの特徴
71・72	期末考査 期末解説	・カラー、エステティックから出題 ・期末考査解説
73～75	3章 ヘアデザイン 教科書：技術理論 1	・美容とデザイン
76～90	1年次の補足授業	・ネイル（アーティフィシャルネイル） ・メイク（まつ毛エクステンション）

評価方法・ 基準	【方法】評価点の配分（定期考査 80%、平常点 20%（出席状況 5%・授業態度 5%・理解度確認テスト 10%））で成績評価を行う。 評価点は 60 点以上/100 点で合格。60 点未満は追試験を行う。 年間の授業必要時間数の 3 分の 1 以上欠席していないことをもって履修とみなす。 【基準】秀（90 点以上）優（80 点以上）良（70 点以上）可（60 点以上）不可（59 点以下）
実務経験の ある教員	担当教員は、美容師免許取得後、サロンに従事し、厚生労働大臣認定 日本理容美容教育センター主催の教員研修で教員免許を取得。美容師としての実務経験を踏まえ、美容師養成に向けて授業を展開する。

【美容実習】第23期生 1年次 授業計画

課目名	【美容実習】ワインディング	時間数	120 時間 (2 年間 198 時間)
担当教員	赤嶺・大塚	実施教室	教室 A
授業の目的 到達目標	【目的】国家試験を意識し、上巻き、下巻き、ステムの角度が理解ができる 【目標】全頭 20 分で巻けるようにする		
授業概要	基礎的操作を学び、全頭の配列を覚え、ワインディングのすべての感覚を身につける		
授業方法	講義・実技 美容師実技試験課題「技術の解説」(日本理容美容教育センター発行)		

授業計画		
時間数	項目	内容
1～2	国家試験について 道具確認と使い方	タイムや、規定での導入 ウィッグの扱い方～道具へ
3～18	上巻き、下巻き センター巻き フロント 5 本 右サイド 左サイド	上巻き、下巻き展示 ⇨ 実践 センター 16 本を巻く センターを巻く ⇨ フロント展示 ⇨ 実践 右サイド展示 ⇨ 実践 左サイド展示 ⇨ 実践
19～56	全頭練習 (タイム) ●進行チェック	部分タイム (センター 8 分、右 10 分、左 7 分) 25 分 ※全頭 25 分で巻き終わる ●1 か月 1 回予定
57	1 学期期末考査	オールバックから 25 分
58～77	全頭練習 (タイム) ●進行チェック	全頭 20 分で巻く ※速さ+キレイさを求めてトレーニング ●1 か月 1 回予定
78	2 学期期末考査	オールバックから 20 分
78～119	個人練習 ●進行チェック	個人で目標を決め、個別トレーニング ●休み明けテスト実施
120	3 学期期末考査	オールバックから 20 分

評価方法・ 基準	【方法】評価点の配分 (定期考査 70%、平常点 30% (出席状況 10%・授業態度 10%・理解度確認テスト 10%)) で成績評価を行う。 評価点は 60 点以上/100 点で合格。60 点未満は補講を行う。 年間の授業必要時間数の 3 分の 1 以上欠席していないことをもって履修とみなす。 【基準】秀 (90 点以上) 優 (80 点以上) 良 (70 点以上) 可 (60 点以上) 不可 (59 点以下)
実務経験 のある教 員	担当教員は、美容師免許取得後、サロンに従事し、厚生労働大臣認定 日本理容美容教育センター主催の教員研修で教員免許を取得。美容師としての実務経験を踏まえ、美容師養成に向けて授業を展開する。

超美容師特化型カリキュラム編成委員会規程

(名称)

第1条 この会は、超美容師特化型カリキュラム編成委員会（以下「委員会」と称する。

(目的)

第2条 委員会は、関係業界のニーズを踏まえた超美容師特化型カリキュラムを開発し、アンビシャス国際美容学校（以下「学校」）の育成目標である『日本一の美容師ルーキー』を育成することを目的とする。

(定義)

第3条 この規定において、超美容師特化型カリキュラムとは、美容師免許の取得を目指すことと同時に『日本一の美容師ルーキー』になるための教育カリキュラムのことで、学校独自のものである。また、『日本一の美容師ルーキー』とは、卒業までにカットデビューすることで美容師 1 年目からスタイリストとして活躍できる人財のことで定義する。

(委員会の所掌事項)

第4条 委員会は、次の事項を所掌する。

- ① 美容室のニーズ等把握に関すること。
- ② 超美容師特化型カリキュラムの開発に関すること。
- ③ 開発された教育カリキュラムによる授業運営に関すること。
- ④ 到達度管理に関すること。

(委員の構成)

第5条 委員会は、校長並びに校長が指名する委員により構成する。

2 委員は、2 名以上の学校職員と 2 名以上の業界関係者とする。

(委員の任期)

第6条 委員の任期は、3 年とする。ただし、再任を防げない。

2 1 年目は教育カリキュラムの開発および作成の期間とし、2～3 年目は到達度チェックおよび再開発の期間とする。

(編成された教育カリキュラムの対象)

第7条 編成された教育カリキュラムは原則 1 期のみを対象とし、入学年度ごとにカリキュラム編成を見直すこととする。

(会議の開催)

第8条 会議は、校長の招集により開催する。

附則 平成 30 年 4 月 1 日より施行する

超美容師特化型カリキュラム編成委員会の取り組み

学校は創立 15 周年を機に、これまでのトータルビューティーカリキュラムから美容師に特化したカリキュラムへと移行した。これは、美容室が創った美容学校の特色を活かし、開校の目的でもある美容室に 1 番近い美容学校の実現に回帰するものである。

一方で、これには関係業界の協力が不可欠である。相互の課題やニーズ等を共有し、実質的な連携強化を図りながら関係業界において必要な人材をともに養成していくための取り組み。

名称	超美容師特化型カリキュラム編成委員会	
内容	(1) “卒業までにカットデビューすることで美容師 1 年目からスタイリストとして活躍できる人財”を育成するためのカリキュラムの開発。 (2) (1)により開発されたカリキュラムによる到達度を確認する。 (3) (2)の結果を受けて、カリキュラムの継続または再開発を行う。	
任期	3 年（1 年目…カリキュラムの開発・作成、2～3 年目…到達度チェック・再開発）	
構成員の名簿	学校側	校長 山下 麻由香
		事務長 児玉 文代
		教務部長 大塚 徳人
	関係業界側	久保田 努（美容室経営）
		渡辺 裕史（美容師）
		近藤 孝則（美容師・卒業生）

令和6年度成績分布表

添付書類「2の4【(4)財務・経営情報の公表(専門学校)】」関係
才 経営要件を満たすことを示す資料

貸借対照表

令和7年3月31日

職業訓練法人 大分県理容美容訓練協会
アンビシャス国際美容学校

資産の部				
科	目	本年度末	前年度末	増 減
流動資産		66,301,137	65,563,205	737,932
現金預金		66,286,117	65,548,185	737,932
未収入金			0	0
立替金			0	0
預託金		15,020	15,020	0
固定資産				
有形固定資産		42,239,604	44,030,841	-1,791,237
建物		39,734,481	42,026,854	-2,292,373
建物附属設備		927,741	1,110,060	-182,319
工具器具備品		488,739	374,543	114,196
構築物		1	1	0
車両運搬具		2	357,023	-357,021
建設仮勘定		0	0	0
リース資産		1,088,640	162,360	926,280
投資等		260,000	260,000	0
出資金		260,000	260,000	0
繰延資産		1,980,000	0	1,980,000
加盟金		1,980,000	0	1,980,000
資産の部合計		110,780,741	109,854,046	926,695
負債の部				
科	目	本年度末	前年度末	増 減
流動負債		11,302,493	11,531,199	-228,706
短期借入金		0	0	0
未払費用		5,457,793	3,753,099	1,704,694
前受金		5,802,000	7,729,000	-1,927,000
預り金		42,700	49,100	-6,400
固定負債		1,108,080	189,364	918,716
長期借入金		0	0	0
長期未払金		1,108,080	189,364	918,716
負債の部合計		12,410,573	11,720,563	690,010
正味財産の部				
科	目	本年度末	前年度末	増 減
正味財産		98,370,168	98,133,483	236,685
負債及び正味財産の部合計		110,780,741	109,854,046	926,695

残高試算表（月次・期間）

3 頁

損益計算書

アンビシャスシャス国際美容学校

自 2024年 4月 1日 至 2025年 3月31日 (決算仕訳を含む)

単位：円

勘 定 科 目	前 期 繰 越	期 間 借 方	期 間 貸 方	当 期 残 高	対 売 上 比
授 業 料（昼 間）	0	0	23,173,160	23,173,160	63.44
授 業 料（通 信）	0	0	8,922,000	8,922,000	24.43
入 学 金	0	0	1,898,000	1,898,000	5.20
考 査 料 収 入	0	0	420,000	420,000	1.15
そ の 他 収 入	0	2,185,000	4,297,930	2,112,930	5.78
売 上 高 合 計	0	2,185,000	38,711,090	36,526,090	100.00
期 首 商 品 棚 卸 高	0	0	0	0	0.00
当 期 商 品 仕 入 高	0	0	0	0	0.00
合 計	0	0	0	0	0.00
期 末 商 品 棚 卸 高	0	0	0	0	0.00
売 上 原 価	0	0	0	0	0.00
売 上 総 損 益 金 額	0		36,526,090	36,526,090	100.00
教 職 員 給 与	0	16,648,000	0	16,648,000	45.58
講 師 手 当	0	256,025	0	256,025	0.70
法 定 福 利 費	0	4,941,421	2,325,955	2,615,466	7.16
福 利 厚 生 費	0	36,872	0	36,872	0.10
水 道 光 熱 費	0	2,098,765	0	2,098,765	5.75
通 信 費	0	293,351	0	293,351	0.80
備 品 消 耗 品 費	0	213,227	0	213,227	0.58
旅 費 交 通 費	0	185,277	0	185,277	0.51
地 代 家 賃	0	3,000,000	0	3,000,000	8.21
車 両 費	0	251,628	0	251,628	0.69
修 繕 費	0	392,200	0	392,200	1.07
接 客 管 理 費	0	126,640	0	126,640	0.35
事 務 用 品 費	0	198,493	0	198,493	0.54
教 育 研 修 費	0	58,000	0	58,000	0.16
教 材 費	0	5,676,293	5,544,700	131,593	0.36
教 科 書 費	0	289,240	0	289,240	0.79
実 習 教 材 費	0	454,453	0	454,453	1.24
通 信 委 託 費	0	2,174,975	0	2,174,975	5.95
催 事 費	0	474,861	0	474,861	1.30
広 告 宣 伝 費	0	708,704	0	708,704	1.94
租 税 公 課	0	76,400	0	76,400	0.21
交 際 費	0	44,471	0	44,471	0.12
減 価 償 却 費	0	6,660,637	3,120,000	3,540,637	9.69
保 険 料	0	493,475	16,179	477,296	1.31
雑 費	0	1,602,191	36,400	1,565,791	4.29

残高試算表（月次・期間）

4 頁

損益計算書

アンビシャスシヤス国際美容学校

自 2024年 4月 1日 至 2025年 3月31日（決算仕訳を含む）

単位：円

勘定科目	前期繰越	期間借方	期間貸方	当期残高	対売上比
販売管理費計	0	47,355,599	11,043,234	36,312,365	99.41
営業損益金額	0		213,725	213,725	0.59
受取利息	0	0	21,122	21,122	0.06
受取配当金	0	0	1,838	1,838	0.01
営業外収益合計	0	0	22,960	22,960	0.06
営業外費用合計	0	0	0	0	0.00
経常損益金額	0		236,685	236,685	0.65
特別利益合計	0	0	0	0	0.00
特別損失合計	0	0	0	0	0.00
税引前当期純損益金額	0		236,685	236,685	0.65
当期純損益金額	0		236,685	236,685	0.65

残高試算表（月次・期間）

3 頁

損益計算書

アンビシャスシヤス国際美容学校

自 2023年 4月 1日 至 2024年 3月31日 (決算仕訳を含む)

単位：円

勘 定 科 目	前期繰越	期間借方	期間貸方	当期残高	対売上比
授業料（昼間）	0	742,000	25,030,639	24,288,639	68.41
授業料（通信）	0	0	7,410,000	7,410,000	20.87
入 学 金	0	0	1,594,000	1,594,000	4.49
考 査 料 収 入	0	0	520,000	520,000	1.46
そ の 他 収 入	0	5,018,631	6,707,967	1,689,336	4.76
売 上 高 合 計	0	5,760,631	41,262,606	35,501,975	100.00
期首商品棚卸高	0	0	0	0	0.00
当期商品仕入高	0	0	0	0	0.00
合 計	0	0	0	0	0.00
期末商品棚卸高	0	0	0	0	0.00
売 上 原 価	0	0	0	0	0.00
売 上 総 損 益 金 額	0		35,501,975	35,501,975	100.00
教 職 員 給 与	0	16,380,000	0	16,380,000	46.14
講 師 手 当	0	437,675	0	437,675	1.23
法 定 福 利 費	0	4,578,429	2,375,459	2,202,970	6.21
福 利 厚 生 費	0	48,627	0	48,627	0.14
水 道 光 熱 費	0	1,873,317	0	1,873,317	5.28
通 信 費	0	298,362	22,816	275,546	0.78
備 品 消 耗 品 費	0	201,938	0	201,938	0.57
旅 費 交 通 費	0	52,940	0	52,940	0.15
地 代 家 賃	0	3,000,000	0	3,000,000	8.45
車 両 費	0	454,933	0	454,933	1.28
修 繕 費	0	347,260	0	347,260	0.98
接 客 管 理 費	0	85,410	0	85,410	0.24
事 務 用 品 費	0	171,530	47,162	124,368	0.35
教 育 研 修 費	0	34,000	0	34,000	0.10
教 材 費	0	4,337,046	3,501,780	835,266	2.35
教 科 書 費	0	268,634	0	268,634	0.76
実 習 教 材 費	0	2,194	0	2,194	0.01
通 信 委 託 費	0	1,732,621	0	1,732,621	4.88
催 事 費	0	380,921	0	380,921	1.07
広 告 宣 伝 費	0	1,188,453	98,750	1,089,703	3.07
租 税 公 課	0	71,400	200	71,200	0.20
交 際 費	0	49,431	0	49,431	0.14
減 価 償 却 費	0	6,651,109	3,240,000	3,411,109	9.61
保 険 料	0	440,980	15,734	425,246	1.20
寄 付 金	0	4,160	0	4,160	0.01

残高試算表（月次・期間）

4 頁

損益計算書

アンビシャスシヤス国際美容学校

自 2023年 4月 1日 至 2024年 3月31日(決算仕訳を含む)

単位：円

勘定科目	前期繰越	期間借方	期間貸方	当期残高	対売上比
雑費	0	1,558,179	33,000	1,525,179	4.30
販売管理費計	0	44,649,549	9,334,901	35,314,648	99.47
営業損益金額	0		187,327	187,327	0.53
受取利息	0	0	503	503	0.00
受取配当金	0	0	1,838	1,838	0.01
営業外収益合計	0	0	2,341	2,341	0.01
営業外費用合計	0	0	0	0	0.00
経常損益金額	0		189,668	189,668	0.53
特別利益合計	0	0	0	0	0.00
特別損失合計	0	0	0	0	0.00
税引前当期純損益金額	0		189,668	189,668	0.53
当期純損益金額	0		189,668	189,668	0.53

残高試算表（月次・期間）

3 頁

損益計算書

アンビシヤスシヤス国際美容学校

自 2022年 4月 1日 至 2023年 3月31日（決算仕訳を含む）

単位：円

勘定科目	前期繰越	期間借方	期間貸方	当期残高	対売上比
授業料（昼間）	0	511,100	37,326,965	36,815,865	78.53
授業料（通信）	0	1,000	5,782,000	5,781,000	12.33
入学金	0	0	2,030,000	2,030,000	4.33
審査料収入	0	0	360,000	360,000	0.77
その他収入	0	4,744,186	6,640,711	1,896,525	4.05
売上高合計	0	5,256,286	52,139,676	46,883,390	100.00
期首商品棚卸高	0	0	0	0	0.00
当期商品仕入高	0	0	0	0	0.00
合 計	0	0	0	0	0.00
期末商品棚卸高	0	0	0	0	0.00
売上原価	0	0	0	0	0.00
売上総損益金額	0		46,883,390	46,883,390	100.00
教職員給与	0	16,615,000	0	16,615,000	35.44
講師手当	0	439,575	0	439,575	0.94
退職金	0	500,000	0	500,000	1.07
法定福利費	0	4,742,074	2,365,699	2,376,375	5.07
福利厚生費	0	80,012	0	80,012	0.17
水道光熱費	0	2,335,639	0	2,335,639	4.98
通信費	0	288,101	0	288,101	0.61
備品消耗品費	0	288,156	0	288,156	0.61
旅費交通費	0	53,610	0	53,610	0.11
地代家賃	0	3,000,000	0	3,000,000	6.40
車両費	0	208,788	0	208,788	0.45
修繕費	0	1,279,525	750,000	529,525	1.13
接客管理費	0	76,240	0	76,240	0.16
事務用品費	0	148,475	3,667	144,808	0.31
教材費	0	9,416,391	6,401,455	3,014,936	6.43
教科書費	0	251,790	0	251,790	0.54
通信委託費	0	1,091,904	0	1,091,904	2.33
催事費	0	352,294	0	352,294	0.75
広告宣伝費	0	1,862,436	0	1,862,436	3.97
租税公課	0	71,000	0	71,000	0.15
減価償却費	0	7,322,441	3,600,000	3,722,441	7.94
保険料	0	439,340	37,851	401,489	0.86
雑費	0	1,799,582	22,000	1,777,582	3.79
販売管理費計	0	52,662,373	13,180,672	39,481,701	84.21
営業損益金額	0		7,401,689	7,401,689	15.79

残高試算表（月次・期間）

4 頁

損益計算書

アンビシャスシャス国際美容学校

自 2022年 4月 1日 至 2023年 3月31日 (決算仕訳を含む)

単位：円

勘定科目	前期繰越	期間借方	期間貸方	当期残高	対売上比
受取利息	0	0	527	527	0.00
受取配当金	0	0	2,838	2,838	0.01
営業外収益合計	0	0	3,365	3,365	0.01
営業外費用合計	0	0	0	0	0.00
経常損益金額	0		7,405,054	7,405,054	15.79
特別利益合計	0	0	0	0	0.00
固定資産除却損	0	1	0	1	0.00
特別損失合計	0	1	0	1	0.00
税引前当期純損益金額	0		7,405,053	7,405,053	15.79
当期純損益金額	0		7,405,053	7,405,053	15.79

財 産 目 録

(令和7年3月31日現在)
アンビシャス国際美容学校

I 資産総額	金	110,780,741 円
内 1 基本財産	金	44,219,604 円
2 運用財産	金	66,561,137 円
II 負債総額	金	12,410,573 円
III 正味財産	金	98,370,168 円

財産の状況

[1]資産

1 基本財産

(1)建物

種 別	所 在 地	計	金 額 円	備 考
校舎	大分市大字市551番地	726.86	39,734,481	
計			39,734,481	

(2)建物附属設備

種 別	金 額 円	備 考
突き出し看板	46,988	
校舎電気設備	390,171	
給排水衛生設備	179,445	
空調換気設備	311,137	
計	927,741	

(3)工具器具備品

種 別	金 額 円	備 考
看板	1	
スクリーン	1	
シャワーイス・セットイス	1	
机・テーブル	133,010	
折りたたみテーブル54台	1	
実習室鏡	1	
アトムス備品一式	1	
アップルデスクトップパソコン	1	
DELLデスクトップパソコン	1	
DELLノートパソコン3台	88,595	
マウスノートパソコン	124,867	
DELLデスクトップパソコン	132,459	
計	498,739	

(4)構築物

種 別	金 額 円	備 考
校舎外溝工事	1	
計	1	

(5)車両運搬具

種 別	金 額 円	備 考
ダイハツ ハイゼット2台	2	
計	2	

(6)リース資産

種 別	金 額 円	備 考
日立キャピタルNBL鋼複合機	0	
三井住友FムラテックUTM内蔵ストレージ	1,088,640	
計	1,088,640	

(7)繰延資産

種 別	金 額 円	備 考
加算金	1,980,000	
計	1,980,000	

2 運用財産

(1)預貯金・現金

ア 預貯金

預貯金種別	金融機関	金 額 円	備 考
普通預金	大分県信用組合	32,919,914	
普通預金	大分信用金庫	2,390,853	
普通預金	大分みらい信用金庫	7,503	
普通預金	ゆうちょ銀行	510,719	
定期預金	大分県信用組合	400,000	
定期預金	大分県信用組合	30,000,000	
計		66,228,989	

イ 現金 57,128 円

(2)有価証券

銘柄	数 量	取得年月日	金 額 円	備 考
大分県信用組合	100口	平成17年10月13日	10,000	1口100円
大分県信用組合	2,000口	平成18年12月19日	200,000	1口100円
大分みらい信用金庫	1,000口	平成25年7月8日	50,000	1口50円
計			260,000	

(3)預託金

内 訳	件 数	金 額 円	備 考
リサイクル預託金	2	15,020	
計		15,020	

[2]負債

1 固定負債

(1)長期未払金

内 訳	件 数	金 額 円	使 途	支払期限	備 考
三井住友FLムラテック	1	1,108,080	UTM内蔵ストレージ	令和7年1月2日～令和11年12月2日	60ヶ月
計		1,108,080			

2 流動負債

(1)未払金

内 訳	件 数	金 額 円	使 途	備 考
人件費		1,092,486	3月分給与	
教育経費	8	4,250,850	ウィッグ・シザー・通信委託費	
通信費	1	11,140	電話	
税金	3	103,317	源泉所得税・県民税・市民税	
計		5,457,793		

(2)前受金

内 訳	件 数	金 額 円	使 途	備 考
令和7年度分学生納付金	24	5,802,000		
計		5,802,000		

(3)預り金

内 訳	件 数	金 額 円	使 途	備 考
旅行積立	1	12,000	職員分	
市県民税	1	30,700	職員分	
計		42,700		

[3] 借用財産

(1)土地

種 別	所 在 地	㎡	契 約 相手方	契約期間	賃 料 (月額) 円	備 考
校舎敷地	大分市大字市551番地	1033	鋪エフ・ワイ・シー	2006年4月1日～2026年3月31日	250,000	
計					250,000	

学校名	アンビシャス国際美容学校
所在地	〒870-1151 大分県大分市大字市 551 番地
分野	衛生
課程名	衛生専門課程
学科名	美容科
修業年限	2 年
昼夜	昼
生徒総定員	40 人

(別紙様式)

日本学生支援機構に登録している
「奨学金事務に係る学校番号」調査票
【私立専門学校】

私立専門学校の名称	アンビシャス国際美容学校
私立専門学校の名称（ふりがな）	あんびしゃすこくさいびようがっこう
私立専門学校の所在地	大分市大字市 5 5 1 番地
日本学生支援機構に登録している 「奨学金事務に係る学校番号」(6 桁)	6 9 5 0 4 2

(注 1) 私立専門学校 1 校につき、1 葉作成願います。

(注 2) 「日本学生支援機構に登録している「奨学金事務に係る学校番号」(6 桁)」がご不明の場合は、まず、学内の奨学金事務担当者にご確認ください。なお、ご不明の場合は、奨学金事務担当者から機構にお問い合わせください。

(問い合わせ先)

独立行政法人日本学生支援機構

奨学事業戦略部 奨学事業戦略課 事業戦略係

電話：03-6743-6105 Fax:03-6743-6679

(注 3) 「日本学生支援機構に登録している「奨学金事務に係る学校番号」(6 桁)」が未登録の場合は、「未登録」と記入願います。

その他提出書類「(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置」関係

ア 実務経験のある教員等による授業科目の一覧表

2年間のカリキュラム

No.	課目		授業教科名	時間数			授業項目
				単位	総時間	時間数	
1	必修		美容技術理論	5	150	150	教科書内容・定期テスト
2			美容実習	30	909	50	国家試験カット
						74	国家試験オールウェーブセッティング
						198	国家試験ワインディング
						184	国家試験実技第1.2課題対策・見極め
						18	デザインパーマ
						84	デザインカット
						18	デザインカラー
						163	シャンプー・ドライ
						10	特殊技術実習
						110	実務実習
3	選択	専門教育	美容総合技術	18	549	159	カット
						40	パーマ
						28	ブロー
						36	スタイリング・セット
						69	カラー
						70	アンピサロン
						51	トレーニング(アンビ杯)
						84	トレーニング(アンビ祭)
						12	業界実習
合計時間				53	1,608	1608	

※上記2年間のカリキュラムのうち「実務経験のある教員等による授業科目」

美容技術理論 150

美容実習 国家試験ワインディング 198

合計 348 時間

その他提出書類「(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置」関係
ア 実務経験のある教員等による授業科目の授業計画（シラバス）

【美容実習】第23期生 1年次 授業計画

課目名	【美容実習】ワインディング	時間数	120 時間（2 年間 198 時間）
担当教員	赤嶺・大塚	実施教室	教室 A
授業の目的 到達目標	【目的】 国家試験を意識し、上巻き、下巻き、ステムの角度が理解ができる 【目標】 全頭 20 分で巻けるようにする		
授業概要	基礎的操作を学び、全頭の配列を覚え、ワインディングのすべての感覚を身につける		
授業方法	講義・実技 美容師実技試験課題「技術の解説」（日本理容美容教育センター発行）		

授業計画		
時間数	項目	内容
1～2	国家試験について 道具確認と使い方	タイムや、規定での導入 ウィッグの扱い方～道具へ
3～18	上巻き、下巻き センター巻き フロント 5 本 右サイド 左サイド	上巻き、下巻き展示 ⇨ 実践 センター 16 本を巻く センターを巻く ⇨ フロント展示 ⇨ 実践 右サイド展示 ⇨ 実践 左サイド展示 ⇨ 実践
19～56	全頭練習（タイム） ●進行チェック	部分タイム（センター 8 分、右 10 分、左 7 分） 25 分 ※全頭 25 分で巻き終わる ●1 か月 1 回予定
57	1 学期期末考査	オールバックから 25 分
58～77	全頭練習（タイム） ●進行チェック	全頭 20 分で巻く ※速さ+キレイさを求めてトレーニング ●1 か月 1 回予定
78	2 学期期末考査	オールバックから 20 分
78～119	個人練習 ●進行チェック	個人で目標を決め、個別トレーニング ●休み明けテスト実施
120	3 学期期末考査	オールバックから 20 分

評価方法・ 基準	【方法】 評価点の配分（定期考査 70%、平常点 30%（出席状況 10%・授業態度 10%・理解度確認テスト 10%））で成績評価を行う。 評価点は 60 点以上/100 点で合格。60 点未満は補講を行う。 年間の授業必要時間数の 3 分の 1 以上欠席していないことをもって履修とみなす。 【基準】 秀（90 点以上）優（80 点以上）良（70 点以上）可（60 点以上）不可（59 点以下）
実務経験 のある教 員	担当教員は、美容師免許取得後、サロンに従事し、厚生労働大臣認定 日本理容美容教育センター主催の教員研修で教員免許を取得。美容師としての実務経験を踏まえ、美容師養成に向けて授業を展開する。

【美容技術理論】第23期生 1年次 授業計画

課目名	【美容技術理論】	時間数	90 時間（2 年間 150 時間）
担当教員	赤嶺 里奈	実施教室	教室 A
授業の目的 到達目標	【目的】 道具の名称、使い方を覚える 【目標】 「なぜそうなるのか」を理解でき、実技への筋道を立てる		
授業概要	・技術の習得を容易にする ・理論＝技術を理解する ・基礎から応用へのステップアップにスムーズに導入できるようにする		
授業方法	講義・実技 ・技術理論教科書 1・2 ・実習教科書 1・2 ※項目ごとに確認テストを行う ・パワーポイントを活用し、講義と実践を交えながら進めていく		

授業計画		
時間数	項目	内容
1～5	序章～美容用具 教科書：技術理論 1	・作業姿勢、美容師とは、授業内容説明 ・美容技術における道具 ・コーム、ブラシ、シザーズ、レザー ・ピン類、ヘアクリップ ・ロッド、ローラー ・電気機器
6～20	10 章 メイクアップ （実技含む） 教科書：技術理論 2	・導入と展示 ・スキンケア（展示） ・スキンケア（実践） ・パーツ手順（展示） ・パーツ（実践）
21～40	9 勝 ネイル （実技含む） 教科書：技術理論 2	・ネイル技術の種類 ・爪の構造 ・ネイル技術と公衆衛生 ・ネイルケア→実践
41	期末考査 期末解説	・序章、道具、メイクアップ、ネイルより出題
42～48	4 章 カットイング 教科書：技術理論 1	・シザーズの扱い方（手入れ実践） ・美容刃物 ・正しい姿勢とブロッキング ・ベーシックなカット技法 ・シザーズによるカット技法

49～54	2章 シャンプー 教科書：技術理論 1	・総論 ・サイドシャンプー、バックシャンプー ・リンス、コンディショナー、トリートメント ・スカルプトリートメント、ヘッドスパ ・種類と特徴
55・56	期末考査 期末解説	・カット、シャンプーより出題 ・期末考査解説
57～61	8章 エステティック 教科書：技術理論 2	・皮膚の構造 ・カウンセリング ・マッサージ理論（フェイシャル・ボディ） ・フェイシャルパック
62～70	7章 カラーリング 教科書：技術理論 1	・ヘアカラーリングの種類 ・染毛のメカニズム ・ヘアカラーの特徴
71・72	期末考査 期末解説	・カラー、エステティックから出題 ・期末考査解説
73～75	3章 ヘアデザイン 教科書：技術理論 1	・美容とデザイン
76～90	1年次の補足授業	・ネイル（アーティフィシャルネイル） ・メイク（まつ毛エクステンション）

評価方法・ 基準	【方法】評価点の配分（定期考査 80%、平常点 20%（出席状況 5%・授業態度 5%・理解度確認テスト 10%））で成績評価を行う。 評価点は 60 点以上/100 点で合格。60 点未満は追試験を行う。 年間の授業必要時間数の 3 分の 1 以上欠席していないことをもって履修とみなす。 【基準】秀（90 点以上）優（80 点以上）良（70 点以上）可（60 点以上）不可（59 点以下）
実務経験の ある教員	担当教員は、美容師免許取得後、サロンに従事し、厚生労働大臣認定 日本理容美容教育センター主催の教員研修で教員免許を取得。美容師としての実務経験を踏まえ、美容師養成に向けて授業を展開する。

成績評価の客観的な指標について

1 個別の教科の成績評価は、次の(1)～(5)により行う。

(1)学期末の評価は、考查点に当該学期の平常点を加味した評価点で評価する。

(2)学期末の評価点の配分は、概ね考查点 80%、平常点 20%で評価する。

(3)平常点は、考查の成績以外で、授業態度、提出物などにに基づき公正に評価する。

(4)平常点は、期末考查当日までを目途に算出する。

(5)評価点算出の際、小数点以下は四捨五入し、整数で求める。

2 客観的な指標に基づく成績評価は、①関係法規・制度

②衛生管理 ③保健 ④香粧品化学 ⑤文化論 ⑥美容技術理論

⑦運営管理 ⑧美容実習の 8 教科について、上記(1)～(5)で算

出した評価点を合算した合計点で行う。

本校は『社会に貢献できる人財（より多くの人に支持されるスタイリスト）の礎を築く』ことを教育目的に掲げている。美容業はお客様からの支持がなくてはならない職業である。まずは相手の目線で考えることができるようになること。そして、卒業までにカットデビューすることで美容師1年目からスタイリストとして活躍できる人財になること。それが本校の育成人財像である。それを達成するためのカリキュラムや学校生活のルールを用意しており、「目指せ!!日本一の美容師ルーキー!」の掛け声のもと運営にあたり以下の通り進級及び卒業認定とする。

- (1) 各学年所定の教科課目の単位をすべて履修・修得すること。
- (2) 学納金の納入が完了していること。
- (3) 各学年所定の出席日数の3分の1以上欠席した場合は、原則として原級留置とする。
- (4) 各教科課目の授業必要時間数の3分の1以上欠課となった場合は、原則として原級留置とする。

その他提出書類「2の4【(4)財務・経営情報の公表(専門学校)】」関係
力 財務諸表等

貸借対照表

令和7年3月31日

職業訓練法人 大分県理容美容訓練協会
アンビシャス国際美容学校

資産の部				
科	目	本年度末	前年度末	増 減
流動資産		66,301,137	65,563,205	737,932
現金預金		66,286,117	65,548,185	737,932
未収入金			0	0
立替金			0	0
預託金		15,020	15,020	0
固定資産				
有形固定資産		42,239,604	44,030,841	-1,791,237
建物		39,734,481	42,026,854	-2,292,373
建物附属設備		927,741	1,110,060	-182,319
工具器具備品		488,739	374,543	114,196
構築物		1	1	0
車両運搬具		2	357,023	-357,021
建設仮勘定		0	0	0
リース資産		1,088,640	162,360	926,280
投資等		260,000	260,000	0
出資金		260,000	260,000	0
繰延資産		1,980,000	0	1,980,000
加盟金		1,980,000	0	1,980,000
資産の部合計		110,780,741	109,854,046	926,695
負債の部				
科	目	本年度末	前年度末	増 減
流動負債		11,302,493	11,531,199	-228,706
短期借入金		0	0	0
未払費用		5,457,793	3,753,099	1,704,694
前受金		5,802,000	7,729,000	-1,927,000
預り金		42,700	49,100	-6,400
固定負債		1,108,080	189,364	918,716
長期借入金		0	0	0
長期未払金		1,108,080	189,364	918,716
負債の部合計		12,410,573	11,720,563	690,010
正味財産の部				
科	目	本年度末	前年度末	増 減
正味財産		98,370,168	98,133,483	236,685
負債及び正味財産の部合計		110,780,741	109,854,046	926,695

残高試算表（月次・期間）

3 頁

損益計算書

アンビシャスシャス国際美容学校

自 2024年 4月 1日 至 2025年 3月31日 (決算仕訳を含む)

単位：円

勘定科目	前期繰越	期間借方	期間貸方	当期残高	対売上比
授業料（昼間）	0	0	23,173,160	23,173,160	63.44
授業料（通信）	0	0	8,922,000	8,922,000	24.43
入学金	0	0	1,898,000	1,898,000	5.20
考査料収入	0	0	420,000	420,000	1.15
その他収入	0	2,185,000	4,297,930	2,112,930	5.78
売上高合計	0	2,185,000	38,711,090	36,526,090	100.00
期首商品棚卸高	0	0	0	0	0.00
当期商品仕入高	0	0	0	0	0.00
合計	0	0	0	0	0.00
期末商品棚卸高	0	0	0	0	0.00
売上原価	0	0	0	0	0.00
売上総損益金額	0		36,526,090	36,526,090	100.00
教職員給与	0	16,648,000	0	16,648,000	45.58
講師手当	0	256,025	0	256,025	0.70
法定福利費	0	4,941,421	2,325,955	2,615,466	7.16
福利厚生費	0	36,872	0	36,872	0.10
水道光熱費	0	2,098,765	0	2,098,765	5.75
通信費	0	293,351	0	293,351	0.80
備品消耗品費	0	213,227	0	213,227	0.58
旅費交通費	0	185,277	0	185,277	0.51
地代家賃	0	3,000,000	0	3,000,000	8.21
車両費	0	251,628	0	251,628	0.69
修繕費	0	392,200	0	392,200	1.07
接客管理費	0	126,640	0	126,640	0.35
事務用品費	0	198,493	0	198,493	0.54
教育研修費	0	58,000	0	58,000	0.16
教材費	0	5,676,293	5,544,700	131,593	0.36
教科書費	0	289,240	0	289,240	0.79
実習教材費	0	454,453	0	454,453	1.24
通信委託費	0	2,174,975	0	2,174,975	5.95
催事費	0	474,861	0	474,861	1.30
広告宣伝費	0	708,704	0	708,704	1.94
租税公課	0	76,400	0	76,400	0.21
交際費	0	44,471	0	44,471	0.12
減価償却費	0	6,660,637	3,120,000	3,540,637	9.69
保険料	0	493,475	16,179	477,296	1.31
雑費	0	1,602,191	36,400	1,565,791	4.29

残高試算表（月次・期間）

損益計算書

アンビシャスシヤス国際美容学校

自 2024年 4月 1日 至 2025年 3月31日 (決算仕訳を含む)

単位：円

勘定科目	前期繰越	期間借方	期間貸方	当期残高	対売上比
販売管理費計	0	47,355,599	11,043,234	36,312,365	99.41
営業損益金額	0		213,725	213,725	0.59
受取利息	0	0	21,122	21,122	0.06
受取配当金	0	0	1,838	1,838	0.01
営業外収益合計	0	0	22,960	22,960	0.06
営業外費用合計	0	0	0	0	0.00
経常損益金額	0		236,685	236,685	0.65
特別利益合計	0	0	0	0	0.00
特別損失合計	0	0	0	0	0.00
税引前当期純損益金額	0		236,685	236,685	0.65
当期純損益金額	0		236,685	236,685	0.65

残高試算表（月次・期間）

3 頁

損益計算書

アンビシヤスシヤス国際美容学校

自 2023年 4月 1日 至 2024年 3月31日(決算仕訳を含む)

単位：円

勘定科目	前期繰越	期間借方	期間貸方	当期残高	対売上比
授業料（昼間）	0	742,000	25,030,639	24,288,639	68.41
授業料（通信）	0	0	7,410,000	7,410,000	20.87
入学金	0	0	1,594,000	1,594,000	4.49
考査料収入	0	0	520,000	520,000	1.46
その他収入	0	5,018,631	6,707,967	1,689,336	4.76
売上高合計	0	5,760,631	41,262,606	35,501,975	100.00
期首商品棚卸高	0	0	0	0	0.00
当期商品仕入高	0	0	0	0	0.00
合計	0	0	0	0	0.00
期末商品棚卸高	0	0	0	0	0.00
売上原価	0	0	0	0	0.00
売上総損益金額	0		35,501,975	35,501,975	100.00
教職員給与	0	16,380,000	0	16,380,000	46.14
講師手当	0	437,675	0	437,675	1.23
法定福利費	0	4,578,429	2,375,459	2,202,970	6.21
福利厚生費	0	48,627	0	48,627	0.14
水道光熱費	0	1,873,317	0	1,873,317	5.28
通信費	0	298,362	22,816	275,546	0.78
備品消耗品費	0	201,938	0	201,938	0.57
旅費交通費	0	52,940	0	52,940	0.15
地代家賃	0	3,000,000	0	3,000,000	8.45
車両費	0	454,933	0	454,933	1.28
修繕費	0	347,260	0	347,260	0.98
接客管理費	0	85,410	0	85,410	0.24
事務用品費	0	171,530	47,162	124,368	0.35
教育研修費	0	34,000	0	34,000	0.10
教材費	0	4,337,046	3,501,780	835,266	2.35
教科書費	0	268,634	0	268,634	0.76
実習教材費	0	2,194	0	2,194	0.01
通信委託費	0	1,732,621	0	1,732,621	4.88
催事費	0	380,921	0	380,921	1.07
広告宣伝費	0	1,188,453	98,750	1,089,703	3.07
租税公課	0	71,400	200	71,200	0.20
交際費	0	49,431	0	49,431	0.14
減価償却費	0	6,651,109	3,240,000	3,411,109	9.61
保険料	0	440,980	15,734	425,246	1.20
寄付金	0	4,160	0	4,160	0.01

残高試算表（月次・期間）

4 頁

損益計算書

アンビシャスシヤス国際美容学校

自 2023年 4月 1日 至 2024年 3月31日 (決算仕訳を含む)

単位：円

勘定科目	前期繰越	期間借方	期間貸方	当期残高	対売上比
雑費	0	1,558,179	33,000	1,525,179	4.30
販売管理費計	0	44,649,549	9,334,901	35,314,648	99.47
営業損益金額	0		187,327	187,327	0.53
受取利息	0	0	503	503	0.00
受取配当金	0	0	1,838	1,838	0.01
営業外収益合計	0	0	2,341	2,341	0.01
営業外費用合計	0	0	0	0	0.00
経常損益金額	0		189,668	189,668	0.53
特別利益合計	0	0	0	0	0.00
特別損失合計	0	0	0	0	0.00
税引前当期純損益金額	0		189,668	189,668	0.53
当期純損益金額	0		189,668	189,668	0.53

残高試算表（月次・期間）

3 頁

損益計算書

アンビシャスシャス国際美容学校

自 2022年 4月 1日 至 2023年 3月31日（決算仕訳を含む）

単位：円

勘 定 科 目	前期繰越	期間借方	期間貸方	当期残高	対売上比
授業料（昼間）	0	511,100	37,326,965	36,815,865	78.53
授業料（通信）	0	1,000	5,782,000	5,781,000	12.33
入 学 金	0	0	2,030,000	2,030,000	4.33
考 査 料 収 入	0	0	360,000	360,000	0.77
そ の 他 収 入	0	4,744,186	6,640,711	1,896,525	4.05
売 上 高 合 計	0	5,256,286	52,139,676	46,883,390	100.00
期首商品棚卸高	0	0	0	0	0.00
当期商品仕入高	0	0	0	0	0.00
合 計	0	0	0	0	0.00
期末商品棚卸高	0	0	0	0	0.00
売 上 原 価	0	0	0	0	0.00
売 上 総 損 益 金 額	0		46,883,390	46,883,390	100.00
教 職 員 給 与	0	16,615,000	0	16,615,000	35.44
講 師 手 当	0	439,575	0	439,575	0.94
退 職 金	0	500,000	0	500,000	1.07
法 定 福 利 費	0	4,742,074	2,365,699	2,376,375	5.07
福 利 厚 生 費	0	80,012	0	80,012	0.17
水 道 光 熱 費	0	2,335,639	0	2,335,639	4.98
通 信 費	0	288,101	0	288,101	0.61
備 品 消 耗 品 費	0	288,156	0	288,156	0.61
旅 費 交 通 費	0	53,610	0	53,610	0.11
地 代 家 賃	0	3,000,000	0	3,000,000	6.40
車 両 費	0	208,788	0	208,788	0.45
修 繕 費	0	1,279,525	750,000	529,525	1.13
接 客 管 理 費	0	76,240	0	76,240	0.16
事 務 用 品 費	0	148,475	3,667	144,808	0.31
教 材 費	0	9,416,391	6,401,455	3,014,936	6.43
教 科 書 費	0	251,790	0	251,790	0.54
通 信 委 託 費	0	1,091,904	0	1,091,904	2.33
催 事 費	0	352,294	0	352,294	0.75
広 告 宣 伝 費	0	1,862,436	0	1,862,436	3.97
租 税 公 課	0	71,000	0	71,000	0.15
減 価 償 却 費	0	7,322,441	3,600,000	3,722,441	7.94
保 険 料	0	439,340	37,851	401,489	0.86
雑 費	0	1,799,582	22,000	1,777,582	3.79
販 売 管 理 費 計	0	52,662,373	13,180,672	39,481,701	84.21
営 業 損 益 金 額	0		7,401,689	7,401,689	15.79

残高試算表（月次・期間）

4 頁

損益計算書

アンビシャスシャス国際美容学校

自 2022年 4月 1日 至 2023年 3月31日 (決算仕訳を含む)

単位：円

勘定科目	前期繰越	期間借方	期間貸方	当期残高	対売上比
受取利息	0	0	527	527	0.00
受取配当金	0	0	2,838	2,838	0.01
営業外収益合計	0	0	3,365	3,365	0.01
営業外費用合計	0	0	0	0	0.00
経常損益金額	0		7,405,054	7,405,054	15.79
特別利益合計	0	0	0	0	0.00
固定資産除却損	0	1	0	1	0.00
特別損失合計	0	1	0	1	0.00
税引前当期純損益金額	0		7,405,053	7,405,053	15.79
当期純損益金額	0		7,405,053	7,405,053	15.79

財 産 目 録

(令和7年3月31日現在)
アンビシャス国際美容学校

Ⅰ 資産総額	金	110,780,741 円
内 1 基本財産	金	44,219,604 円
2 運用財産	金	66,561,137 円
Ⅱ 負債総額	金	12,410,573 円
Ⅲ 正味財産	金	98,370,168 円

財産の状況

[1]資産

1 基本財産

(1)建物

種 別	所 在 地	計	㎡	金 額 円	備 考
校舎	大分市大字市551番地		726.86	39,734,481	
	計			39,734,481	

(2)建物附属設備

種 別	金 額 円	備 考
突き出し看板	46,988	
校舎電気設備	380,171	
給排水衛生設備	179,445	
空調換気設備	311,137	
計	927,741	

(3)工具器具備品

種 別	金 額 円	備 考
看板	1	
スクリーン	1	
シャンプーイス・セットイス	1	
机・テーブル	133,010	
折りたたみテーブル54台	1	
実習室鏡	1	
アトムス備品一式	1	
アップルデスクトップパソコン	1	
DELLデスクトップパソコン	1	
DELLノートパソコン3台	98,595	
マウスノートパソコン	124,687	
DELLデスクトップパソコン	132,459	
計	488,739	

(4)構築物

種 別	金 額 円	備 考
校舎外溝工事	1	
計	1	

(5)車両運搬具

種 別	金 額 円	備 考
ダイハツ ハイゼット2台	2	
計	2	

(6)リース資産

種 別	金 額 円	備 考
日立キャピタルNBL網覆合機	0	
三井住友FLムラテックUTM内蔵ストレージ	1,088,640	
計	1,088,640	

(7)繰延資産

種 別	金 額 円	備 考
加盟金	1,980,000	
計	1,980,000	

2 運用財産

(1)預貯金・現金

ア 預貯金

預貯金種別	金融機関	金 額 円	備 考
普通預金	大分県信用組合	32,919,914	
普通預金	大分信用金庫	2,390,853	
普通預金	大分みらい信用金庫	7,503	
普通預金	ゆうちょ銀行	510,719	
定期預金	大分県信用組合	400,000	
定期預金	大分県信用組合	30,000,000	
計		66,228,989	

イ 現金 57,128 円

(2)有価証券

銘 柄	数 量	取得年月日	金 額 円	備 考
大分県信用組合	100口	平成17年10月13日	10,000	1口100円
大分県信用組合	2,000口	平成18年12月19日	200,000	1口100円
大分みらい信用金庫	1,000口	平成25年7月8日	50,000	1口50円
計			260,000	

(3)預託金

円

内 訳	件 数	金 額 円	備 考
リサイクル預託金	2	15,020	
計		15,020	

[2]負債

1 固定負債

(1)長期未払金

内 訳	件 数	金 額 円	使 途	支払期限	備 考
三井住友FLムラテック	1	1,108,080	UTM内蔵ストレージ	令和7年1月2日～令和11年12月2日	60ヶ月
計		1,108,080			

2 流動負債

(1)未払金

内 訳	件 数	金 額 円	使 途	備 考
人件費		1,092,486	3月分給与	
教育経費	9	4,250,850	ウィッグ・シザー・通信委託費	
通信費	1	11,140	電話	
税金	3	103,317	源泉所得税・県民税・市民税	
計		5,457,793		

(2)前受金

内 訳	件 数	金 額 円	使 途	備 考
令和7年度分学生納付金	24	5,802,000		
計		5,802,000		

(3)預り金

内 訳	件 数	金 額 円	使 途	備 考
旅行積立	1	12,000	職員分	
市県民税	1	30,700	職員分	
計		42,700		

[3] 借用財産

(1)土地

種 別	所 在 地	m	契 約 相手方	契約期間	賃 料 (月額) 円	備 考
校舎敷地	大分市大字市551番地	1033	㈱エフ・ワイ・シー	2006年4月1日～2026年3月31日	250,000	
計					250,000	

その他提出書類「2の4【（4）財務・経営情報の公表（専門学校）】」関係
キ 教育活動に係る情報（学校評価）
自己評価報告書及び学校関係者評価報告書

令和 6 年度
自己評価報告書

令和 7 年 3 月 31 日
アンビシャス国際美容学校

目次

I. 学校の現況	1 ページ
II. 評価の基本方針	2 ページ
III. 重点目標	3 ページ
IV. 項目毎の記述	4～8 ページ

I. 学校の現況

(1) 学校名 アンビシャス国際美容学校

(2) 所在地 大分県大分市大字市 551 番地

(3) 沿革 2003 年 『ワールドビューティーアカデミー』開校（大分市新明治）

（厚生労働大臣指定 美容師養成施設）

2004 年 『アンビシャス国際美容学校』に校名変更

2007 年 わさだエリアに校舎を新設移転（大分市市）

2010 年 大分県知事の認可を受け専修学校に移行

2013 年 創立 10 周年 記念事業実施

・「アンビシャス国際美容学校同窓会」発足

2018 年 創立 15 周年 「超美容師特化型カリキュラム」始動

・「AMBI 祭」会場をトキハわさだタウンへ

2019 年 高等教育の修学支援新制度の対象校に認定

2021 年 文部科学大臣より職業実践専門課程に認定

(4) 学科の構成

美容科 昼間課程 / 美容科 通信課程（春期・秋期）

(5) 学生数及び教職員数(2025 年 3 月 1 日時点)

学生数	美容科 昼間課程	23 名
	美容科 通信課程	41 名
教職員数	専任教員	6 名
	兼任教員	6 名

(6) 施設の概要

普通教室 2、実習室 1、消毒室 1、多目的室 1、図書室 1、職員室 1、理事長室 1、医務室 1

II. 評価の基本方針

(1) 学校評価への取り組み

学校が実践的な職業教育等を目的として自らの教育活動やその他の学校運営について、関係業界等のニーズを踏まえた目指すべき目標を設定し、その達成状況や達成に向けた取り組みの適切さ等について評価・公表することにより、学校として組織的・継続的な改善を図る。また、学校関係者等への適切な説明責任を果たすとともに理解と参画を得ることで、連携と協力による特色ある学校づくりを進める。

これにより、学生が質の高い実践的な職業教育等を享受できるよう、学校運営の改善と充実を目指すための取り組み。

(2) 自己評価

評価項目・指標等を設定し、また外部アンケート等を活用し、自己評価を実施する。

【自己評価項目】

- ❶ 教育理念・目的・人財育成像
- ❷ 学校運営
- ❸ 教育活動
- ❹ 学修成果
- ❺ 学生支援
- ❻ 教育環境
- ❼ 学生の受入れ募集
- ❽ 財務
- ❾ 法令等の遵守
- ❿ 社会貢献・地域貢献

【外部アンケート】

- ❶ 在校生アンケート（学校生活に関するアンケート・授業アンケート）
- ❷ 卒業生アンケート
- ❸ 就職先アンケート

(3) 学校関係者評価

学校関係者を選任し、学校の諸活動の観察等を通じて、当該年度の学校が行った自己評価の結果及びそれを踏まえた今後の改善方策について評価を実施する。

III. 重点目標

(1) 重点目標

昼間・通信の区別なく国家試験全員合格を当たり前に！

① 昼間課程の国家試験合格までの流れを確立させる

毎回だれか一人は不合格になってしまっているのが現状。対策の在り方に問題があるのか、それとも 2 年間の指導に問題があるのか、また別の問題か、はたまたその全てなのか、長期・中期・短期的な目線で、国家試験に全員合格させるために何が欠けているのか課題を洗い出し、全員合格のための指導態勢を確立させよう！

② 通信課程の整備

ここ数年、通信課程の入学者が増加傾向にある。数年前の倍以上の在籍者となった今、これまでのスクーリングのやり方で良いのか検証する必要がある。また、通信生の国家試験の合格率は、昼間生に比べると全国的に低い。登校日数が圧倒的に少ない通信生を全員合格させるための態勢を構築する必要がある。

- ▶ スクーリング実施方法の検証
- ▶ 出欠席の管理
- ▶ 補講の管理
- ▶ 国家試験対策（春入学者用と秋入学者用）

③ 役割分担を再編成

2023 年度は、教務が 2→4 名となり、教務会議等の開催により業務の共有や分担を図った。一部移行や複数で対応できるといった変化はあったものの、未だ偏りが見られる。勤務時間の多くを割く昼間課程の分掌をそのままに、その他の業務の分担を図る。

(2) 取組状況・成果

①不合格になるのは筆記試験だったので、筆記教科担当教員とクラス担任も含め、連絡会議を実施した。担当教員が、他の教科の状況を成績だけでなく受講態度も含め共有することができ、連携しながら対策を行うことができた。

国家試験結果・・・昼間課程：全員合格 通信課程：1 名不合格(実技)

②通信管理者を配置し、教科担当者と事務管理者を分離することで、体制が整いつつある。

③年度中に教職員の移動があり、新年度からも変更の予定。再度の再編成が必要となった。

(3) 課題

①どうしても埋まらない個人差がある。

②都度対応して、大きな課題はない。

③教員の入退職は、既存の教員の負担となる場合もある。

(4) 今後の取組

①連絡会議を学期ごとに開催し、教職員の連携を強化する。

②継続。

③再編成し、常勤と非常勤・外部講師と連携を取りながら学校運営にあたる。

IV. 項目毎の記述

(1) 教育理念・目的・人財育成像

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1			
学校の理念・目的・育成人財像・育成目標は定められているか。	④	3	2	1
学校の理念・目的・育成人財像・目標などが、職員・学生・業界関係者・保護者等に周知がなされているか。	4	③	2	1
社会や業界のニーズを踏まえた将来構想を抱いているか。	④	3	2	1

①課題

周知にも努めており、それらをもとに学生個人の目標設定など指導しているが、日々の行動への落とし込みまではできていない。

②今後の改善方策

これまで通り、理念にある行動指針をもとに学期ごとの行動目標を設定させることで、浸透を図る。

③特記事項

今年度、対応が難しい学生が数名おり、理念云々というよりは日常的な行動でさえ指導が行き届かない。繰り返し指導しているものの、外部からの指摘もあり、対応に苦慮している。

(2) 学校運営

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1			
学校の理念等に沿った運営方針が定められているか。	4	③	2	1
運営方針を実践するための事業計画が策定されているか。	4	③	2	1
運営組織や意思決定機能は明確化されているか、また有効に機能しているか。	4	3	②	1

①課題

定めは十分だが、定めに立ち返るよりは、その場の判断になってしまうこともある。教職員の移動で体制が定まらない。

②今後の改善方策

来年度は教職員の態勢も安定しそうなので、担当の再編成を行う。役割の分担や活性化を図る。

③特記事項

(3) 教育活動

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1			
育成目標を達成するための修業年限に応じた教育到達レベルは明確にされているか。	④	3	2	1
関連分野の企業・関係施設等との連携によるカリキュラムの開発・作成が行われているか。	4	③	2	1
学生の現状や業界のニーズにより、教育方法の工夫・見直しが行われているか。	4	③	2	1
授業評価の実施・評価体制はあるか。	④	3	2	1
成績評価、進級・卒業の認定基準は明確かつ適切に運用されているか。	④	3	2	1
育成目標を達成することができる要件を備えた教員が確保されているか。	4	③	2	1

①課題

その期によって異なるが、“専門学校”で“専門的な教育”を受ける状態に達していない者がいる。教員は、あくまで美容の専門教育の教員であり、教育者でなければカウンセラーでもない。対応に苦慮している。

②今後の改善方策

学生一人ひとりに特性はあれど、美容の専門教育に集中できるような学校づくりと指導を行う。

③特記事項

(4) 学修成果

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1			
就職指導計画が策定され、就職率の向上が図られているか。	4	③	2	1
資格取得指導計画が策定され、資格取得率の向上が図られているか。	4	③	2	1
卒業生の社会的な活躍及び評価を把握しているか。	4	③	2	1

①課題

同窓会は機能していない。美容業界で働く意識づけに苦労する者がいる。

②今後の改善方策

卒業生が授業の講師を務めてくれることは、学生にとっても卒業生にとっても刺激になるようなので、今後も卒業生と在校生の接触を増やしていきたい。

③特記事項

(5) 学生支援

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1			
進路に関する支援体制は整備されているか。	④	3	2	1
学生相談に関する体制は整備されているか。	④	3	2	1
保護者と適切に連携しているか。	4	③	2	1

①課題

先の記述にもあるように、本来の美容の専門的教育以外の支援が必要な学生が増加している。

②今後の改善方策

引き続き、学期ごとの担任面談と進路面談を実施し、必要に応じて家庭とも積極的に連携していく。

③特記事項

(6) 教育環境

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1			
施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか。	4	③	2	1
学外実習等に関する体制は整備されているか。	④	3	2	1
防災に対する体制は整備されているか。	4	③	2	1

①課題

校舎の築年数が経過してきているので、あちこちに傷みが出てきている。本当に細かな修理を度々している状態にある。

②今後の改善方策

施設や備品は、都度修理や入れ替えを行う。

③特記事項

(7) 学生の受入れ募集

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1			
高等学校等接続する機関に対する情報提供の取り組みが行われているか。	4	3	②	1
学生募集活動は、適切かつ効果的に行われているか。	4	3	②	1
学納金は妥当であるか。	4	③	2	1

①課題

高校生の応募が少なめだが、高校で目立った募集活動を行っていないので、その結果といえばそれまでである。

②今後の改善方策

高校訪問担当者を設置。

③特記事項

昼間・通信ともに、授業料を増額する。

昼間・通信ともに、教育訓練給付金の対象講座の指定を受けた。

(8) 財務

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1			
中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか。	4	③	2	1
予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか。	4	③	2	1
学生数変動に応じた計画が組まれているか。	4	③	2	1

①課題

学生数は十分ではないが、赤字ではない。

②今後の改善方策

あらゆる物価高騰により、授業料を増額する。特に通信は、開校以来初めてである。

(昼間：2026年4月入学から 通信：2025年秋入学から)

③特記事項

変わらず借金は無い。

(9) 法令等の遵守

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1			
法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか。	4	③	2	1
個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか。	4	③	2	1
自己評価の実施と問題点の改善を行っているか。	4	③	2	1

①課題

努めているが、手探りの部分もある。後手に回ることもある。

②今後の改善方策

関係機関と連携して、継続して努めていく。

③特記事項

学校評価委員会は書面にて評価を行う。

(10) 社会貢献・地域貢献

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1			
学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか。	4	③	2	1
地域に根差した学校となるための活動を積極的に実施しているか。	4	③	2	1
学生のボランティア活動を奨励・支援しているか。	4	③	2	1

①課題

学生も少なく、物理的に地域の期待に応えることができないこともある。

②今後の改善方策

特に地域の要望などには、関わっていく。

③特記事項

主な地域交流…清掃活動、AMBI 祭 in わっタン、保育園や養護施設、学童保育との交流

令和 6 年度
学校関係者評価報告書

令和 7 年 4 月 30 日
アンビシャス国際美容学校

1. 学校関係者評価委員

《美容関連企業》

株式会社ラミル・ビー 代表取締役 久保田努

有限会社ブームコーポレーション 代表取締役 久保真哉

said. hair and lifestyle 代表 近藤孝則（卒業生）

《地域協力企業》

有限会社ぶんどう 代表 分藤貴弘

2. 令和6年度年度の委員活動等

4月 校長が各委員へ当該年度の取り組みを個別に説明。

4月9日他 久保委員が2年生を対象に授業『デザインカラー』を実施（全3回）

5月17日 久保田委員が2年生を対象に授業『美容経営学』を実施

10月31日 全委員が校内コンテスト『AMBI杯』に審査員として参加。

翌4月 書面による学校関係者評価を実施。

3. 令和6年度 学校関係者評価報告

以下の項目についての評価結果は別紙の通り。

I. 学校の現況

II. 評価の基本方針

III. 重点目標

IV. 項目毎の記述

V. その他

I. 学校の現況について

学生数の確保が難しい現状だろうが、より学生数が増加し活気あふれる学校として、これからも益々の繁栄に期待する。

特に変わった点はないので意見はない。

近年、通信課程の学生数が昼間課程を大幅に上回っていて、次世代の人材育成の観点からすると、昼間課程の学生数確保への課題を検証する必要がある。

II. 評価の基本方針について

素晴らしい評価方針だ。

特に変わった点はないので意見はない。

異業種の評価委員を増やして、多角的な評価からアイデアを吸収し、学生確保への足掛かりにしてはどうか。

III. 重点目標について

(1) 重点目標

国家試験全員合格というのはとても難しいだろうが、そこは最低限の必須課題でもあると考えられるので、これからの取り組みも含め期待している。

美容室からすると、国家試験に不合格で入社となるとその後のプランにかなり影響が出てくる。だから、ぜひ全員合格を当たり前にしてほしい。

“国家試験合格率 100%”は、かなりパワーワードになると思うので、その「課題の洗い出し」が今後どのように行われていくのか気になった。

通信生もここ数年多いので、通信でも AMBI なら合格できるというイメージがつくと強みになる。

昼間課程と通信課程を同等に対応するのは難しいと思うが、どちらかに偏ることなく、課題の整備に期待する。

(2) 取組状況・成果

これからも成果に期待する。

筆記試験については、過去の問題をどんどん解いていくのが一番だと思うが、在校生アンケートにも「問題を解きたい」と答えている学生もいたので、そういった形式を増やすとよい。

自分自身が学生の頃を振り返ると、落ちた人は筆記だったが、やはり授業中寝ていたりと普段から「この人落ちるかもなあ…」と感じている人だった。国家試験直前に焦らず、早い段階から意識を高めていけるとよい。

大きな問題はない。引き続き国家試験全員合格を目指して頑張してほしい。

(3) 課題

明確な課題があればそこを追及できるので、良いのではないだろうか。

集中していない学生やうるさい学生、点数が悪い学生と良い学生とでは、分けて教えていく方がよい。

十人十色である。

少人数制の学校の特色を生かして、細かい対応に期待する。

(4) 今後の取組

取り組みの成果に期待している。

特にない。

既存の教員の方々の負担が多くならないことを切に願う。

共通認識の共有化を引き続き徹底し、時代の変化に対応してほしい。

IV. 項目毎の記述について

(1) 教育理念・目的・人材育成像

理念や指針の落とし込みは本当に難しいことだが、教員の行動や言動から落とし込めることも多くあるので、学校のレガシーとして受け継がれていくことが理想的かもしれない。

対応が難しい学生は、学校だけで教育していくことは難しいのではないか。

対応が難しい学生が気になるが、主な行動はこれまで通りで良いと考える。

大きな目標を持たせることの難しさはあると思うが、日常からの必要な生活習慣さえも問うていかなば勉強までたどり着かない若者が増えてきたことは間違いない。

(2) 学校運営

課題改善を期待する。

特にない。

①の課題となっている部分がクリアになりそうなので、良い方向に進むことを願う。

教員の能力向上だけでなく、色々なアイテムを導入することでバランスを保ってほしい。

(3) 教育活動

今後の改善方法に期待する。

今いる教員の方が美容の教育に集中できるように、カウンセラー的な方がいるとよいのでは。

(1)でも気になったが、大きな難題に直面しているようで心中を察する。程よい距離感で指導にあたってほしい。

日本全体の教育活動が難しい時代に入っている。それに細かく対応するには時間がかかると感じている。

(4) 学修成果

卒業生と在校生の接触はかなり有意義だ。

実際に就職してきた卒業生には、社会人としての意識が十分にあったので問題ない。

特に年代が近いと、より反応が良さそう。

つながることの希薄化が進む時代の中で、それを実行していくことは苦勞するであろう。しかし、大切なことなので、引き続き目指してほしい。

(5) 学生支援

評価も高いため、今後も引き続きお願いしたい。

美容の専門的教育以外の支援は必要だ。

美容師ではない他の進路を思っているのか、入学前の指導というか、事前の何かが必要なかもしれない。

学生の資質を変えていくことはなかなか難しいので、接続機関とある程度連携して、入学前のリサーチは必要だと感じる。

(6) 教育環境

素晴らしい。

特にない。

校舎はもう 20 年近くなるが、行く度にきれいにしているなあ。と感じている。

大幅な投資は難しいので、現状のキープを図りながら、学生数の確保から投資の時期を見極めることが必要だ。

(7) 学生の受入れ募集

業界自体の魅力や革新的な仕事に変化していかないといけないと業界に携わる者として反省しているが、その中でも人気の専門学校もあるから、貴校の努力にも期待したい。

授業料の増額は、色々なものが高騰しているので仕方がないこと、むしろ必要なことだと考える。

学生の中からオシャレで雰囲気の良い人物を連れてガイダンスなどに行けたら、興味を持つ高校生も増えるかもしれない。

他の項目と比べると、一番評価が低いようだ。職員はもちろんだが、外部との連携の中からも学生募集や紹介網を構築する必要がある。

(8) 財務

部外者なので、回答は控える。

(7)同様、授業料の増額は、色々なものが高騰しているので仕方がないこと、むしろ必要なことだと考える。

借金なしがよい。

適正である。

(9) 法令等の遵守

特に問題ない。

近年の学校などでクレーム対応が増加していることを踏まえ、対応策を構築していく必要がある。

(10) 社会貢献・地域貢献

素晴らしい活動を継続できることを期待している。

AMBI の制服を着ている時は、特に、近所の方やお店の人に会ったら挨拶！これを徹底しておけば大丈夫！

引き続き、実施に努めてほしい。

V. その他、ご意見等

美容業界の魅力度を上げ不安のない将来がイメージできるように、貴校が出来ることや貴校にしか出来ないことを発信することを勝手に期待している。

在校生アンケートを見ると、21 期生と 22 期生とでは、クラスの空気感が違うと感じた。2 年生になって、やる気が出たり、士気が上がることを期待する。

毎年 AMBI 祭から AMBI 杯までの期間が短く、準備や練習が追いついていないような気もしている。AMBI 杯のクオリティが全体的に高くなることを期待する。

様々な情勢の変化があるようだが、AMBI の魅力をこれからも磨き続けていくことを応援している。